

関西大学法学論集 第五十卷 総目次

論 説

号 頁 通巻頁

協定保険価額の拘束力……………	栗田和彦……………	( 一 )	( 一 )
消費者商品の売買及び品質保証に関するEU指令(一)……………	今西康人……………	( 五〇 )	( 五〇 )
——その制定過程とドイツ法への影響を中心として——			
『法の精神』における「共和政」と「法の精神」……………	安武真隆……………	( 九二 )	( 九二 )
地震予測情報と政府の反応……………	山川雄巳……………	( 一 )	( 二六二 )
故殺罪に対する法人の刑事責任(一)……………	菅原正幸……………	( 三七 )	( 二九七 )
——イギリス刑法を中心に——			
公法抵触と国際租税法の端緒と進展(その2)……………	本浪章市……………	( 一 )	( 四三二 )
——国際関係法と英国判例の観点から——			
人権諸条約に対する留保……………	中野徹也……………	( 四九 )	( 四七九 )
——条約法の適用可能性とその限界——			
故殺罪に対する法人の刑事責任(二・完)……………	菅原正幸……………	( 九四 )	( 五二四 )
——イギリス刑法を中心に——			

消費者商品の売買及び品質保証に関するEU指令(二)	今西康人	四	(一)	(六二五)
——その制定過程とドイツ法への影響を中心として——				
ドイツの国家目標規定について	岡田裕光	四	(三四)	(六五八)
——わが国の憲法二五条、特に同条二項が有する規範的拘束力を論じる手がかりとして——				
国連公海漁業実施協定第七条における一貫性の原則	加々美康彦	四	(九四)	(七一八)
アメリカ法におけるストック・オプション	溝淵彰	四	(二四六)	(七七〇)
文書偽造罪における「偽造」の概念について	山中敬一	五	(一)	(九〇五)
——作成行為為帰属主体説の提唱——				
法曹養成制度改革論議と法学教育	孝忠延夫	五	(七三)	(九七七)
公法抵触と国際租税法の端緒と進展(その3)	本浪章市	五	(九六)	(二〇〇〇)
——国際関係法と英国判例の観点から——				
第三者効力論の新世紀(一)	君塚正臣	五	(二四)	(二〇二八)
——日本の憲法学は憲法の私人間効力をどのように考えているのか——				
アマルフィ海法の編纂時期	栗田和彦	六	(一)	(二一九三)
——Foscarini 本にそって——				
一九九〇年代後半のフランスにおける選挙・政策・イデオロギー	森本哲郎	六	(七八)	(二二七〇)
——社会民主主義は復活したか——				
第三者効力論の新世紀(二・完)	君塚正臣	六	(二〇五)	(二二九七)
——日本の憲法学は憲法の私人間効力をどのように考えているのか——				
ネットワーク犯罪における捜査上の問題点	道谷卓	六	(二四五)	(二三三七)
——捜索・差押えを中心に——				
B・アッカーマンの二元的民主政理論	大江一平	六	(二七七)	(二三六九)

ヘイト・スピーチ (hate speech) の規制と表現の自由…………… 奈須 祐治…………… (二四三) (一四三五)  
 ——「内容中立性原則 (content neutrality principle)」の射程——  
 投資ファンド課税の国際的側面について…………… 宮本 十至子…………… (二八二) (一四七五)

資 料

Claus Roxin・Günther Jakobs  
 ドイツ刑法学の過去・現在・未来…………… 川口浩一(訳)…………… (二六八) (一六八)  
 ——兵庫県川西市のケースを念頭に置きつつ——  
 市民参加の新たな局面について…………… 眞鍋 俊二…………… (八二) (三四二)  
 ポーランドの一九九七年新刑法典(翻訳)(一)…………… 山中敬一(監訳)…………… (二二七) (三八七)  
 ——兵庫県川西市のケースを念頭に置きつつ——  
 ポーランドの一九九七年新刑法典(翻訳)(二)…………… 山中敬一(監訳)…………… (一三〇) (五六〇)  
 パトリック・ヒヴァクスマン  
 [参加、コミュニケーション、多元主義]…………… 村田尚紀(訳)…………… (一九〇) (八一四)  
 ポーランドの一九九七年新刑法典(翻訳)(三)完…………… 山中敬一(監訳)…………… (二三二) (八四六)  
 アマルフィ海法の序章的研究…………… 栗田 和彦…………… (二六六) (二七〇)  
 ——断片的伝承のころから Manzi 本の再発見まで——  
 ドイツ民法典の一部改正と消費者法…………… 今西 康人…………… (二〇〇) (二一〇四)  
 ——消費者、撤回権等の基本概念に関する民法規定の新設について——

スコットランドにおける法曹養成

〔スコットランド法入門(1)〕……………

H. MacQueen, *Studying Scots Law*, 2nd ed. (Butterworth, 1999) 翻訳 (1)

齋藤 彰……………五 (二一四) (二一八)

スコットランドにおける法曹養成

〔スコットランド法入門(1)〕……………

H. MacQueen, *Studying Scots Law*, 2nd ed. (Butterworth, 1999) 翻訳 (2)

角田 猛之……………五 (二五六) (二一六〇)

「高度専門職業人教育」に関する若干の論点について……………

——「法科大学院構想」をめぐる議論を契機として——

真鍋 俊……………六 (三四四) (二五三六)

### 講 演

フランスの右翼と左翼……………

——一九九九年六月二三日ヨーロッパ議会選挙にみる政治の解体と再編——

シルヴィー・ストリュエール  
土倉莞爾  
大久保朝憲 (共訳)……………三 (二六九) (五九九)

### 書 評

CISIS (戦略・国際研究センター)

『情報化時代の外交改革』によせて……………

真鍋 俊……………四 (二六二) (八八五)

### 紹 介

松井茂記著『日本国憲法』……………

君塚 正臣……………一 (二二四) (二二四)